

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	精神看護学特講Ⅱ Advanced Psychiatric and Mental Health Nursing Ⅱ			担当 教員	安藤幸子（専任） 植本雅治（専任）	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目	授業形態	ゼミ	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい								
<p>精神障害者に対する偏見や処遇の歴史、精神保健医療福祉の法制度や施策を歴史的観点から学ぶ。また現行の精神保健福祉法、障害者自立支援法、心神喪失者等医療監察法について理解を深めると共に、現行の日本の制度、体制と諸外国との比較を行い、今後の課題と展望ならびに看護職に期待される役割について検討する。さらに精神保健医療分野において看護職が遭遇する倫理的な課題について分析し調整する能力を養う。</p> <p>精神保健福祉サービスの提供施設の見学とインタビューを通して、サービスの現状や医療と福祉の連携について学び、今後の課題と専門看護師の役割について検討する。</p> <p>精神看護に関するテーマを設定し、研究の動向と今後の方向性について探求する。</p>								
授業のキーワード		精神保健福祉法、障害者自立支援法、成年後見制度、精神障害者の権利擁護						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1回	精神障害者に対する処遇および精神保健医療福祉の歴史的変遷							
第2回	現行の精神保健福祉法の理解と今後の課題							
第3回	障害者自立支援法の理解と今後の課題							
第4回	心神喪失者等医療観察法の理解と今後の課題 成年後見制度の理解と実践への適用							
第5回	精神保健医療の経済の仕組みと今後の課題							
第6回	諸外国の精神保健医療福祉制度と日本との比較検討を行い、精神保健医療福祉における今後の課題について検討する。							
第7回	医療、福祉、看護をめぐる社会の変化、精神保健福祉の動向を踏まえ、今後専門看護に期待される役割について検討する。							
第8回	精神障害者の権利擁護、精神保健医療福祉をめぐる倫理的問題と看護の役割 倫理的な課題の分析とその調整（事例の分析を含む）							
第9～12回	精神保健医療福祉サービスの実際と提供システムの理解 精神保健医療福祉サービスを提供する施設の見学とインタビューを通して、サービスの現状や医療と福祉の連携について学び、今後の課題および専門看護師の役割について検討する。							
第13～15回	精神看護の実践に関連するテーマを選び、その分野の研究の動向と今後の研究の方向性を検討する。（文献レビュー）							
テキスト	特に指定しない。							
参考文献	授業中に提示します。							
成績評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッション（50%）、課題レポート（50%）							
教員から学生へのメッセージ	授業は主にプレゼンテーションとディスカッションで進めていきます。 精神保健医療福祉サービスの提供施設の見学場所は、学生が自由に選択・開拓して下さい。							

